

長野県介護福祉士会

意識調査報告

令和 7 年 4 月



公益社団法人
長野県介護福祉士会

介護福祉士意識調査報告祖書

目 次

第1章 調査の概要

1 調査目的

2 調査期間

3 調査方法

4 調査対象者

5 調査回収集・回収率

第2章 はじめに

第3章 調査の結果

第4章 介護福祉士意識調査考察

I 基本的属性について

II 研修、スキルアップについて

III 広報について

IV 共通事項について

V 結び

第4章 調査票

第1章 調査の概要

1 調査の目的

介護福祉士会の会員の勤務状況や業務内容、専門職としての意識等のほか、研修状況、ワーク・ライフ・バランスに関する実態調査を行い、介護福祉士の就労実態や生涯学習に関する課題等を把握すること、現活動に対する会員の声から今後の公益社団法人長野県介護福祉士会の活動の発展に反映させていくことを目的とする

2 調査期間

令和 6 年 3 月 25 日～令和 6 年 4 月 30 日

3 調査方法

公益社団法人長野県介護福祉士会が会員を対象に、直接本人宛に郵送配布、また直接本人から郵送返送する方法、QR コードでの返送方法により調査を実施する。

4 調査対象者

(注：令和 6 年 3 月 1 日現在の会員名簿をもとに郵送)

5 調査回収数・回収率

- ・全体の回答者数 564 人（平成 28 年 360 人、平成 24 年 602 人）
- ・全体の回答率 27.1%（平成 28 年 11.9% 平成 24 年 20.3%）

第2章 はじめに

団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となる 2025 年を目の前にし、医療・介護ニーズが爆発的に増加してくることが予測される。そして、少子高齢化による介護領域におけるニーズが複雑化・多様化し、介護サービスの質の向上への対応が求められるとともに、介護福祉士に対して、高い知識や技術が必要とされる専門職として期待が寄せられている。質の高い介護を提供するために、長野県介護福祉会の活動が不可欠な存在になった。

こうした状況を受け、本調査では長野県介護福祉会の属性を把握し、専門職としての意識や、活動状況等に関する実態調査を行い、介護福祉士がおかれている現状や、専門職としての意識と職能団体である長野県介護福祉士会に関する意識を調査し、今後の長野県介護福祉士会の活動の発展に反映させていく事で、職能団体の魅力の発信に期待したい。そして、介護サービスの質は、介護福祉士の個々の「思い」や「心の動き」などによって支えられている。この時代の流れによって変わっていく心の動きに目を向けて、職能団体の活動を考えていかなければ、本質的な活動改善はできない。今後の組織率向上の参考とし、職能団体としての役割が果たされているか検証するために調査を行った。

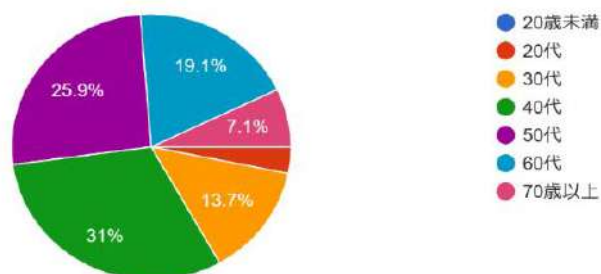
第3章 調査結果

I 基本的属性

平成30年と比較し、20代は9.2%から3.2%、30代は13.9%から13.7%、40代は22.5%から31%。50代は31.1%から25.9%、60代は19.7%から19.1%、70歳以上2.5%から7.1%と変化している。20代の会員数が減り40代、70代の会員数が増加している。

40代、50代の会員が53.6%から56.9%と半数を超えている。

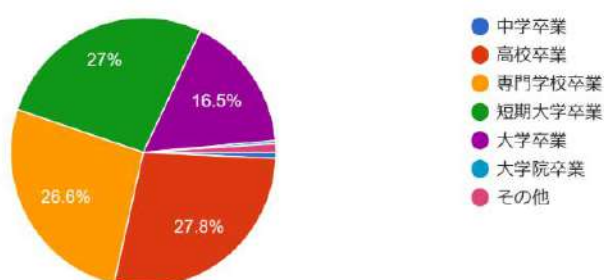
(1) 基本的属性 問1：あなたの年齢（令和6年3月現在）をお答え下さい
564件の回答



問2

高校、短期大学、専門学校の順となっている。平成30年との比較は調査結果なく行えない。

問2：あなたの最終学歴をお答えください
564件の回答

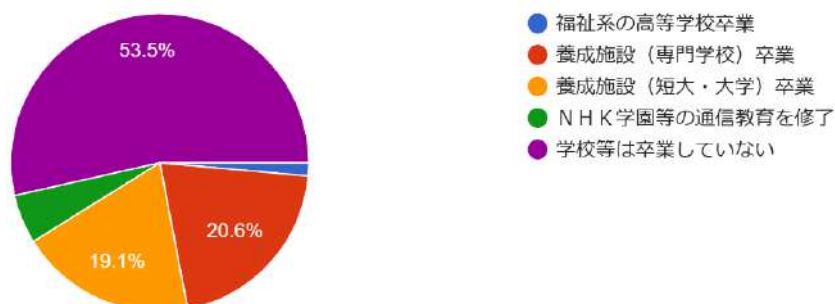


問3

実務経験後国家資格を取得した方は53.5%、平成30年は73.1%、養成校卒業が39.7%、平成30年は25.6%。養成校を卒業し資格取得した方が増えている。

問3：養成施設卒業状況についてお答えください

564 件の回答

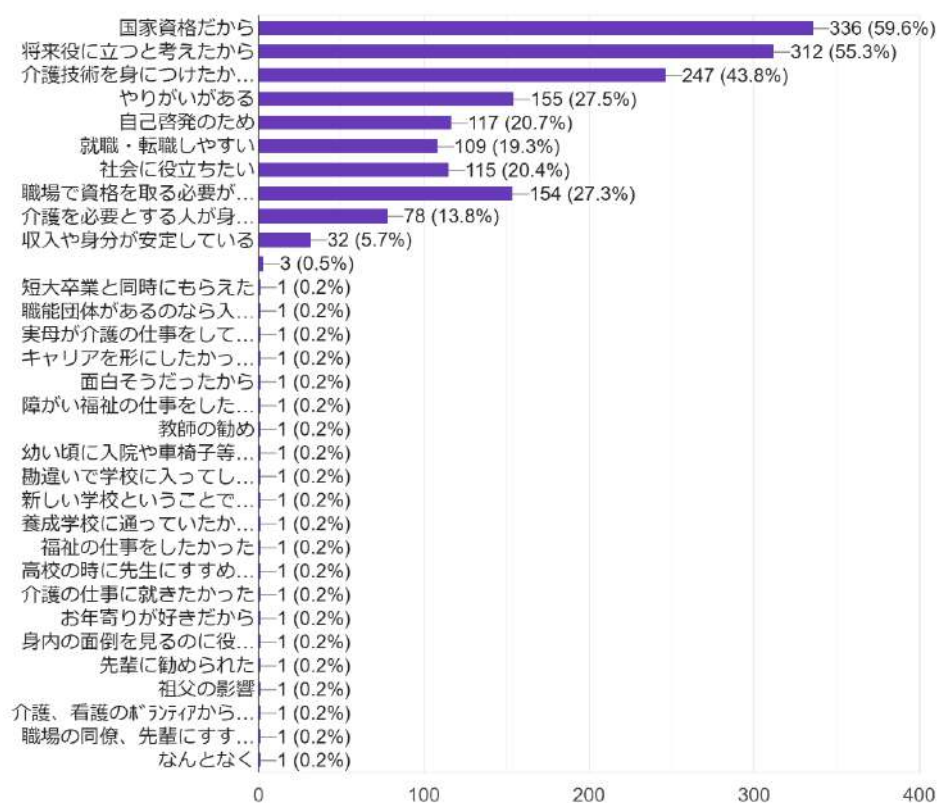


問4

国家資格だから 59.6% 将来役に立つと考えが 55.3% と半数を超えている。

問4：資格取得の動機についてお答えください（複数回答可）

564 件の回答

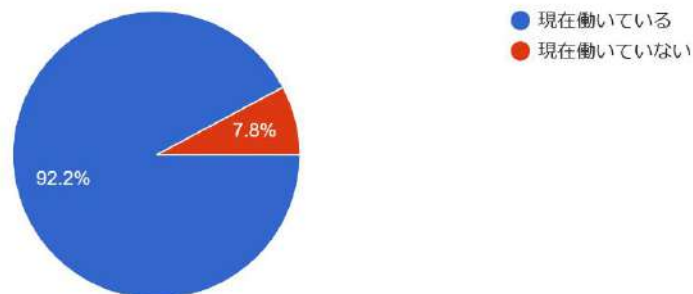


問 5

働いている方が 92.2% 働いていない方が 44 名 7.8%

問5：現在の就業状況についてお答えください

564 件の回答

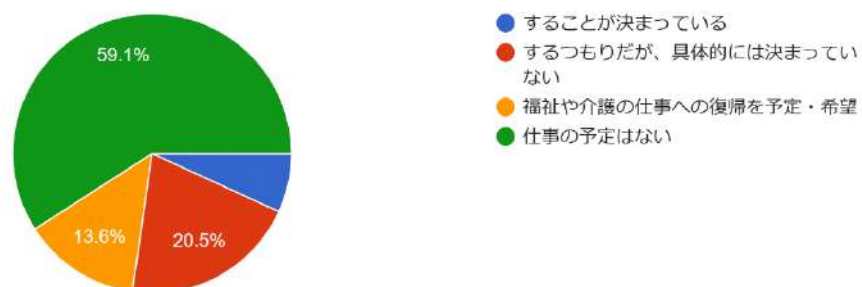


問 6

介護の仕事をする方は 6.8%に留まっている。具体的に決まっていな方 20.5%、復帰を予定・希望している方 13.6%。予定が決まっていな方 59.1%と介護人材は埋もれている。

問6：【「現在働いていない」とお答えの方】介護の仕事をする予定についてお答えください

44 件の回答

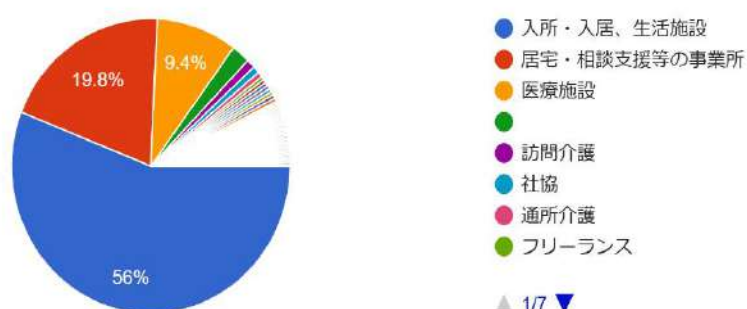


問 7-1

入所・入居、生活施設が 56% 居宅・相談支援等の事業所が 19.8% 医療施設 9.4%。
平成 30 年と比較し、医療施設、居宅施設・相談支援等の事業所割合が増えている。訪問
介護所属している方が 16%から 0.4%であった

(2) 就労条件等【現在、介護、福祉、教育等の仕事...さい】 問7-1：あなたの所属をお答えください

511 件の回答



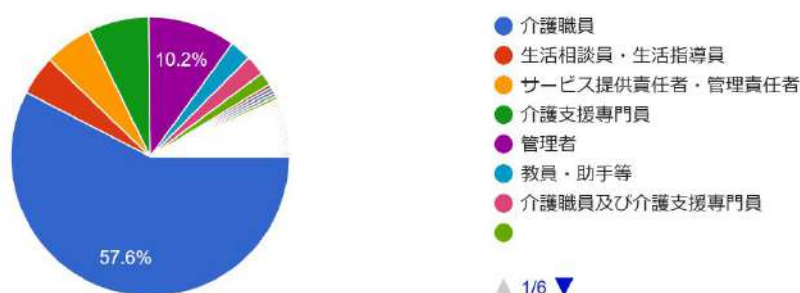
問 7- 2

介護職員 57.6% 管理者が 10.2% 介護支援専門員が 7.1% サービス提供責任者・管理者 5.6%である。

平成 30 年と調査項目が違うが、管理者は 7.7% サービス提供責任者は 7.7% 介護支援専門員 13.4%。管理者は増加し、介護支援専門員、サービス提供責任者は減少している。

問7-2：あなたの職種をお答えください

521 件の回答

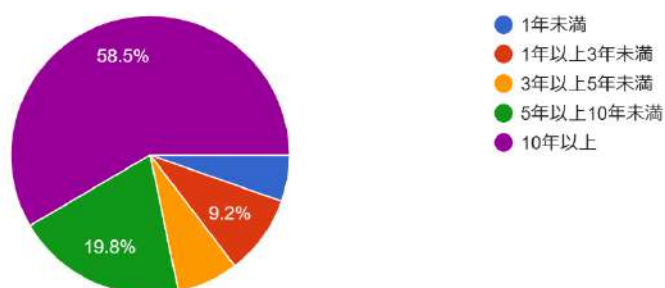


問 8

平成 30 年との比較では 10 年以上 43.3%から 58.5%、5～10 年 23.3%から 19.8%。5 年以上の方で 66.6%から 78.3%を占め勤続年数が増している。詳細では 5 年～10 年の方は減っているが 10 年以上の方が増えている。

問8：現在の職場の在職年数をお答えください

520 件の回答



問 9

介護職員が 46.8%、係長・主任・介護職チームのリーダー 18.8%、介護職のチームリーダー10.1%である。

問9：職場での立場をお答えください

517 件の回答

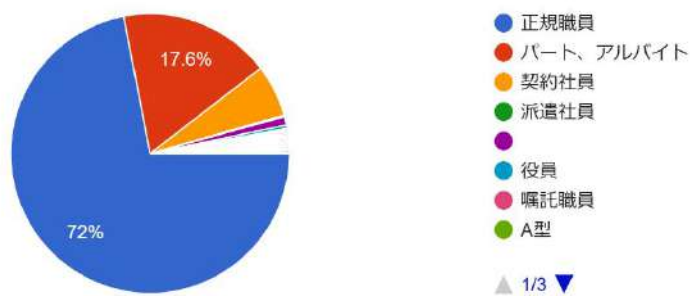


問 10、

雇用形態は正規 71.7%から 72%、パート 16.4%から 17.6%を占めている。雇用形態の割合に変化は少ない。

問10：雇用形態をお答えください

517 件の回答

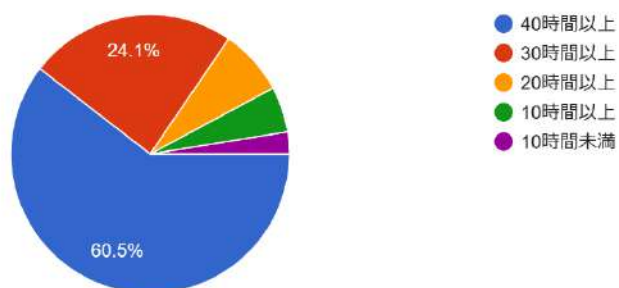


問 11、

40 時時間以上が 60.5% 30 時間以上が 24.1%、20 時間以上 7.6%である

問11：1週間あたりの実際の労働時間をお答えください

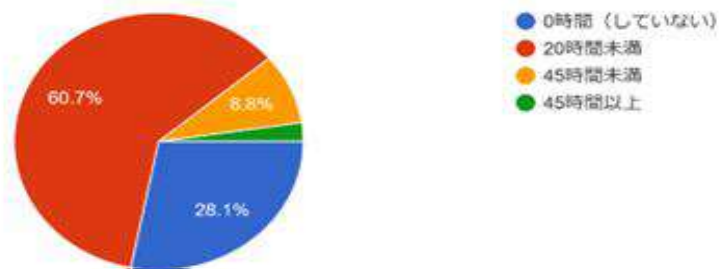
511 件の回答



問 12- 1

20 時間未満が 60.7% 0 時間が 28.1%を占めているが、20 時間を超えている方が 11.2%と 1 割を占めている。

問12-1：1ヵ月にしている残業時間についてお答えください
509 件の回答



問 12- 2 残業手当がつくが 51.9% 残業手当がつかない時間がある 48.1%を占めている

問12-2：残業手当についてお答えください
430 件の回答



問 13

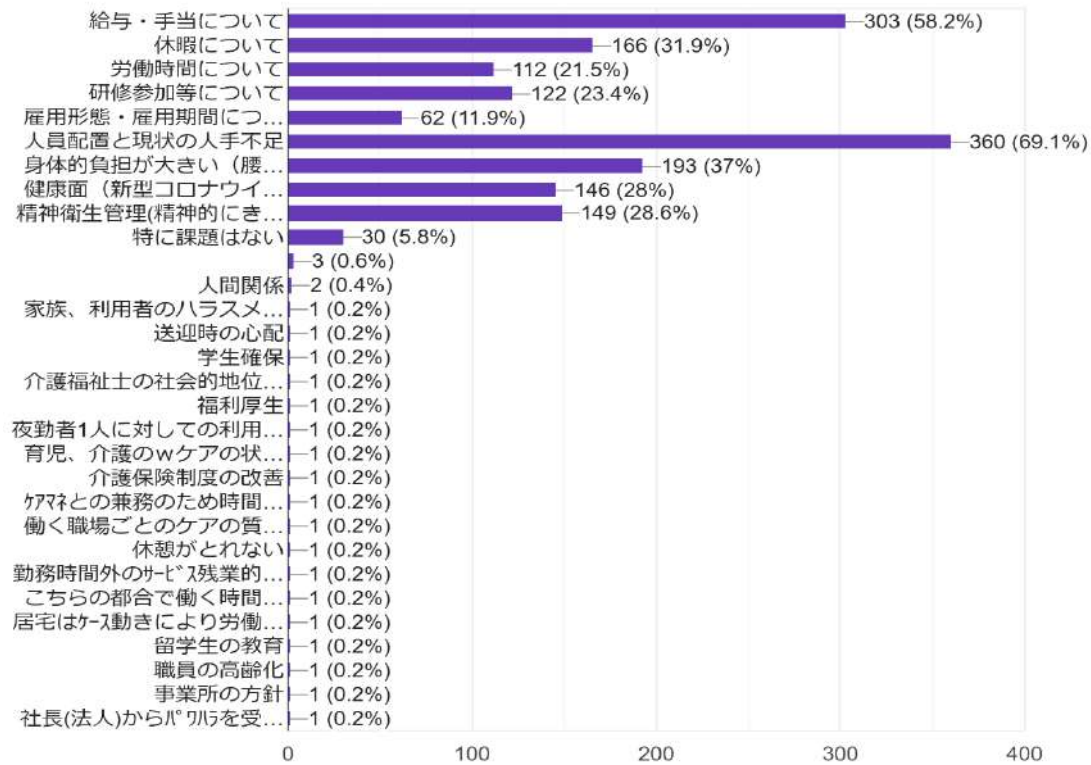
課題に考えていることは、人員配置と人で不足 69.1% 給与・手当について 58.2%を占めている。

その他として、人間関係 家族や利用者のハラスメント 介護福祉士の社会的地位 福利厚生 留学生の教育などがあげられている。

特に課題はないとの回答が、5.8%である。

問13：労働条件の課題についてお答えください。(複数回答可)

521 件の回答

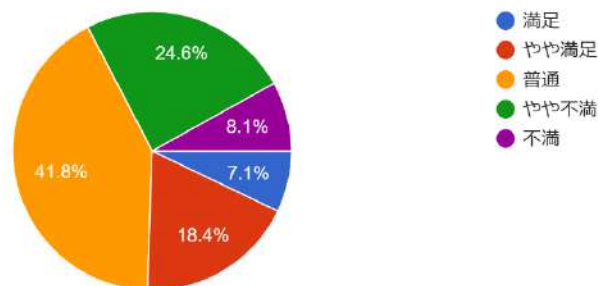


問 14-1

普通が 41.8% やや不満 24.6% やや満足が 18.4% 不満が 8.1% 満足が 7.1% 不満に思う方が 32.7% いる。

問14-1：現在のワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についてお答えください

521 件の回答

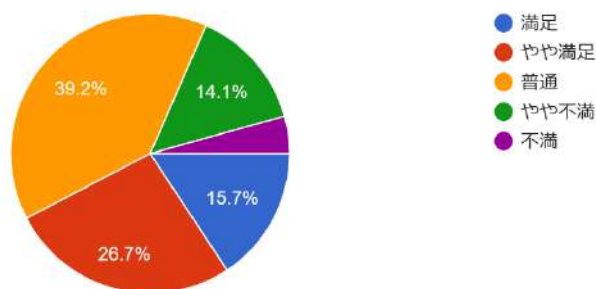


問 14-2

仕事の内容ややりがいについては、普通が 39.2% やや満足が 26.7% 満足が 15.7% やや不満 14.1% 不満 4.3% である。42.4%の方が満足をしているが 18.4%の方が不満を感じている。

問14-2：現在の仕事の内容・やりがいの満足度についてお答えください

510 件の回答

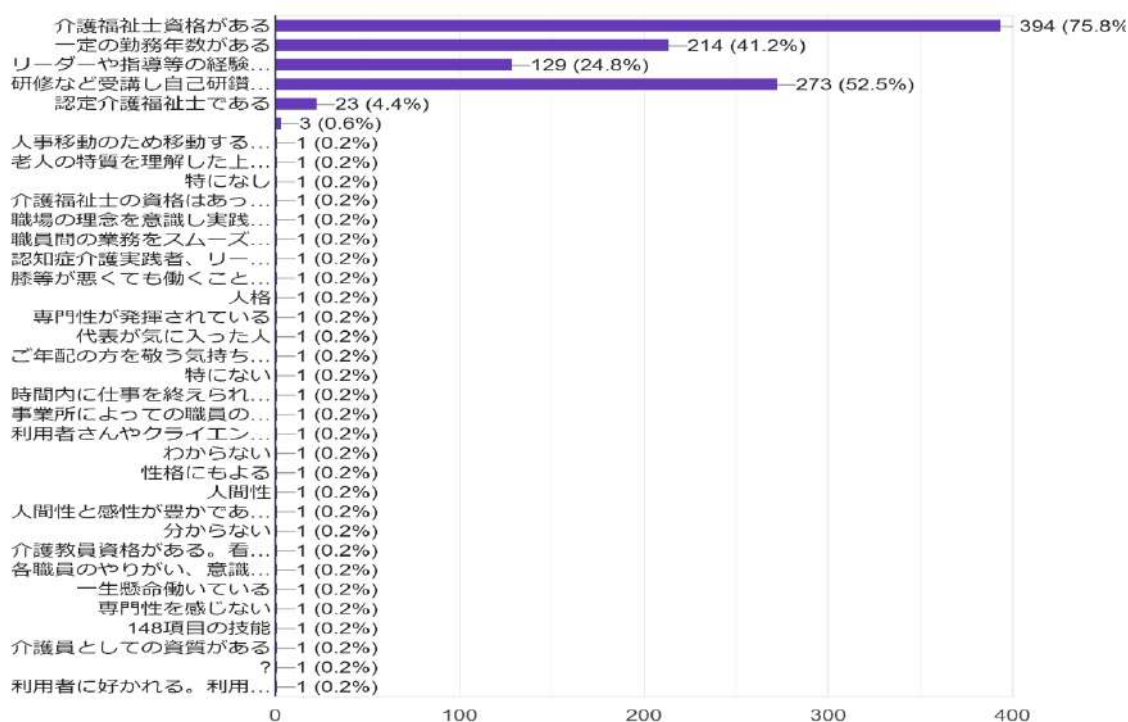


問 15

介護福祉士資格がある 75.8% 研修等受講し自己研鑽している 52.5%、一定の勤務年数 41.2% の順に高い割合をしめている。

(3) 専門性について 問15：働く事業所における「職員」の定義についてお答えください(複数回答可)

520 件の回答



問 16

身体介護 78.6% 生活支援 50.1% 介護過程の展開 56.4%を占めている

その他として、

- ・急変時の対応、看護との連携
- ・地域貢献
- ・現在は介護についていないが教育面で役立っている

- ・技術の伝達
- ・観察の視点
- ・信頼が得られている

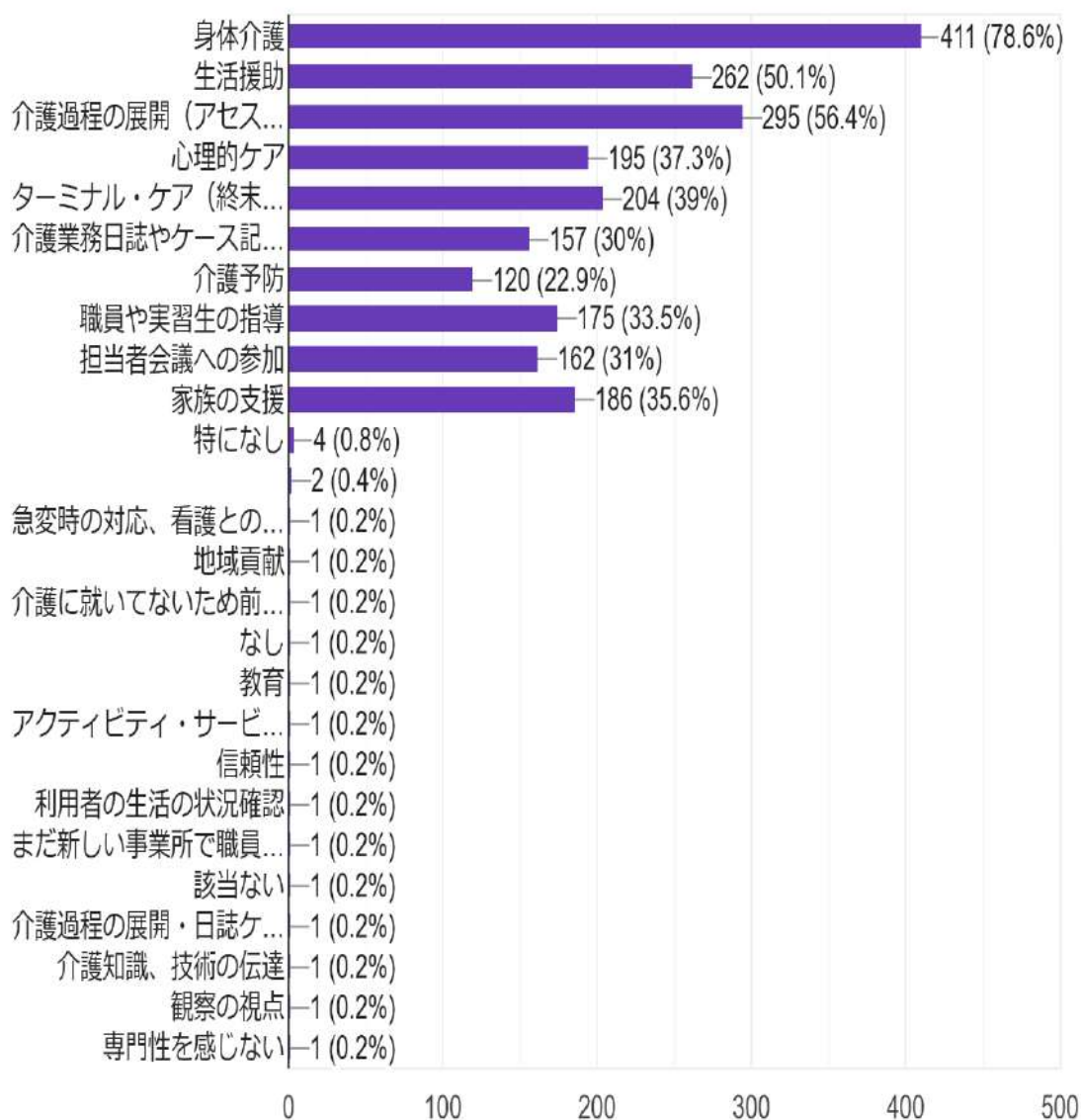
等があげられている。

専門性が活かされている業務は特にないと回答が 0.8%ある。

また、専門性を感じないとの回答が 0.2%ある。

問16：職場において専門性が活かされていると思う業務についてお答えください(複数回答可)

523 件の回答

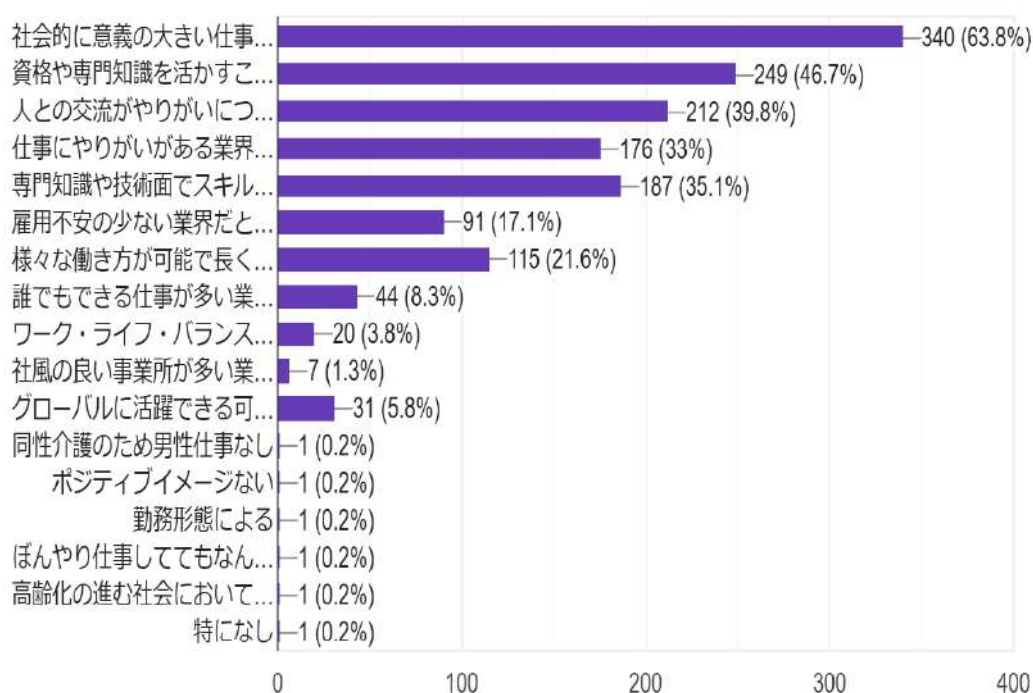


問 17

社会的に意義が大きい仕事だと思う 63.8% 資格や専門知識を活かすことができる業界である。46.7% 人との交流がやりがいにつながる業界である 39.8% だれでもできる仕事が多い業界だと思う 8.3%のイメージもある

問17：介護サービス業のポジティブイメージについてお答えください(複数回答可)

533 件の回答

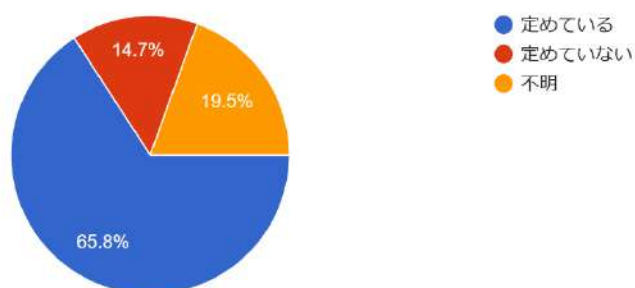


問 1 8

定めている 65.8% 不明 19.5% 定めていない 14.7%である。

(4) 組織の人材育成、研修計画について 問18...ど、組織での決まりを定めているかお答えください

518 件の回答

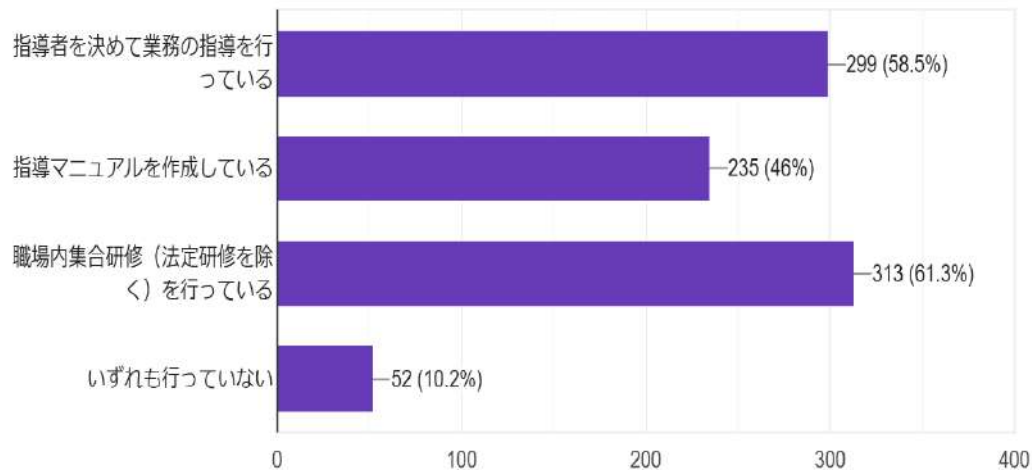


問 19

職場内集合研修を行っている 61.3% 指導者を決めて業務の指導を行っている 58.5% 指導マニュアルを作成している 46% いずれも行っていない 10.2%。1 割が人材育成を行っていない。

問19：事業所における人材育成として行っているものについてお答えください（複数回答可）

511 件の回答

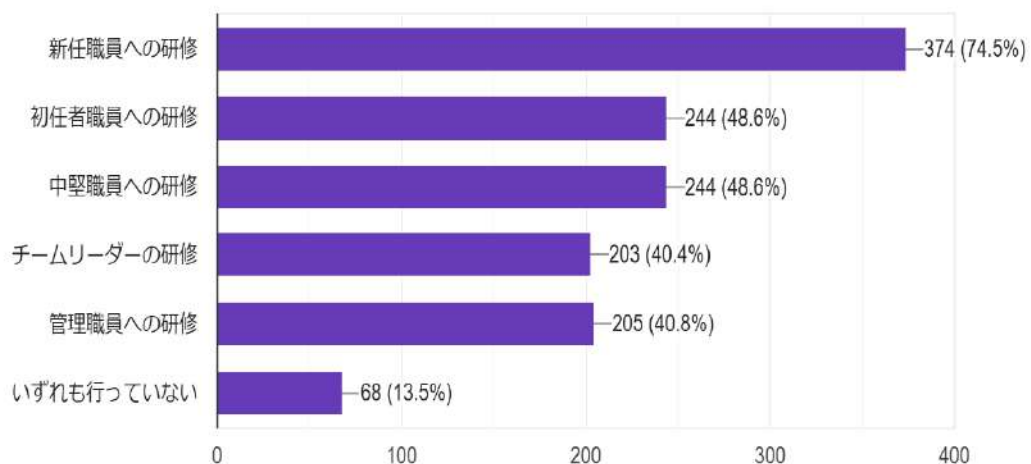


問 20

新任職員への研修は 74.5% 初任者職員への研修 48.6% 中堅職員への研修 48.6% いずれも行っていない 13.5%である。

問20：事業所において、人材育成としての取り組みについてお答えください。（複数回答可）

502 件の回答

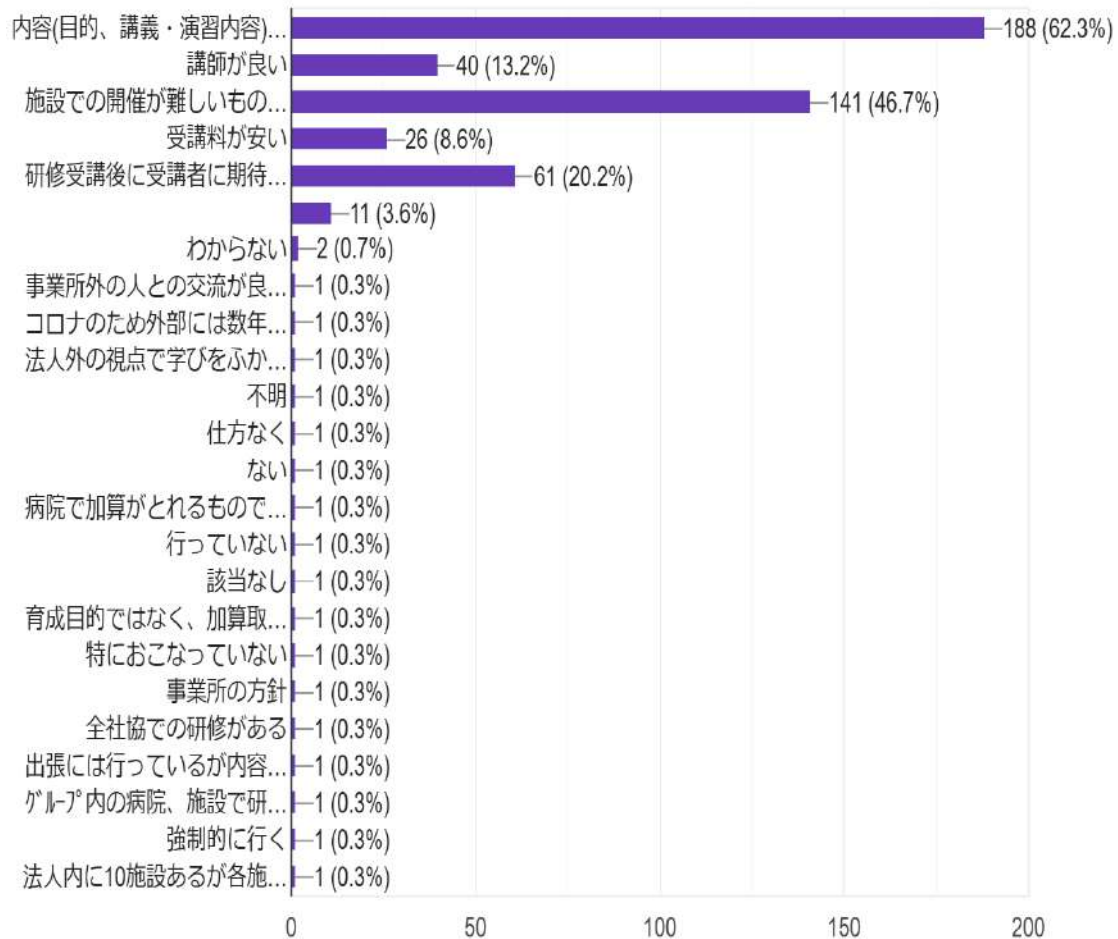


問 21- 1

内容、(目的、講義、演習の内容) が良い 62.3% 施設での開催が難しいものを実施している 46.7%

問21-1：人材育成として職場外研修の派遣（出張）...合、その理由をお答えください。(複数回答可)

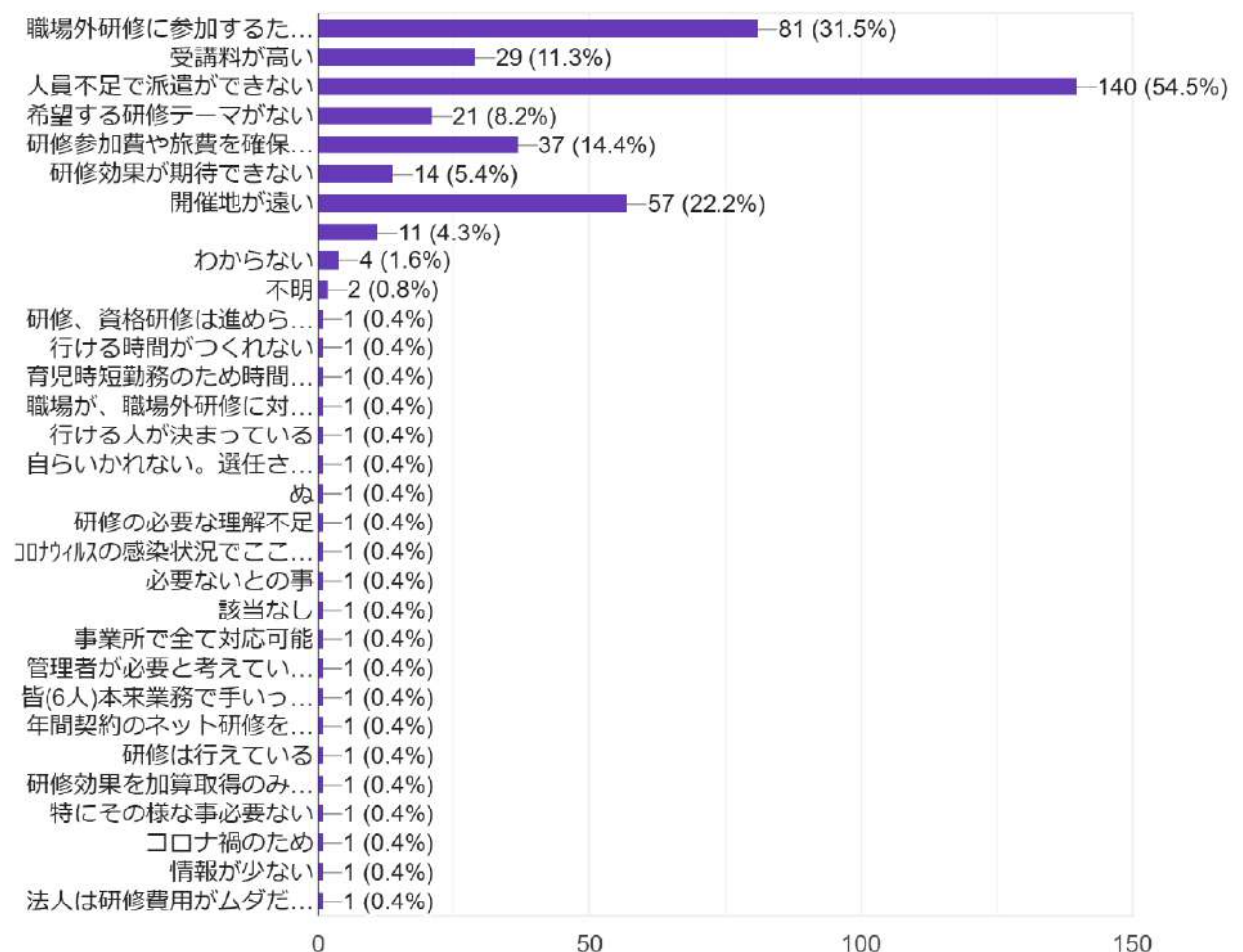
302 件の回答



問 21-2

人員不足で派遣ができない 54.5% 職場外研修に参加するための制度がない 31.5%
開催地が遠い 22.2%である。

問21-2：人材育成として職場外研修の派遣（出張）…合、その理由をお答えください。（複数回答可）
257 件の回答

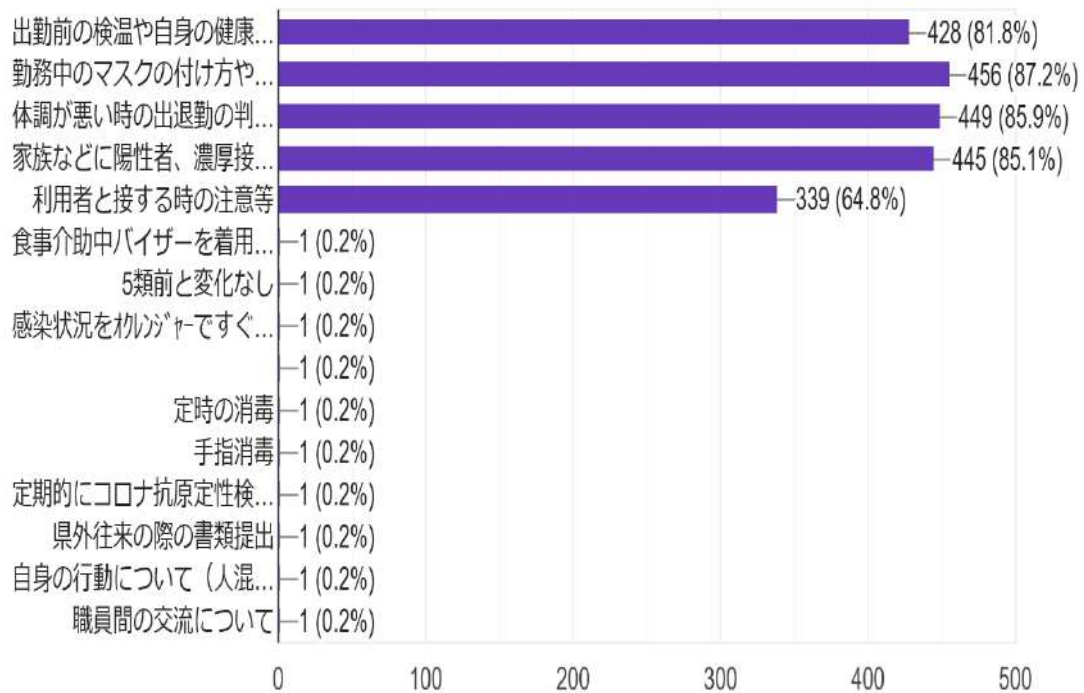


問 22

出勤中のマスクのつけ方 87.2% 体調が悪い時の出退勤の判断について 85.9% 家族などに陽性者、農耕接触者があった場合の対応について 85.1% 出勤前の検温や自身の健康状態の報告 81.8%を占めている。

(5) 感染症について 問22：新型コロナウイルス...徹底されている事をお答えください。(複数回答可)

523 件の回答

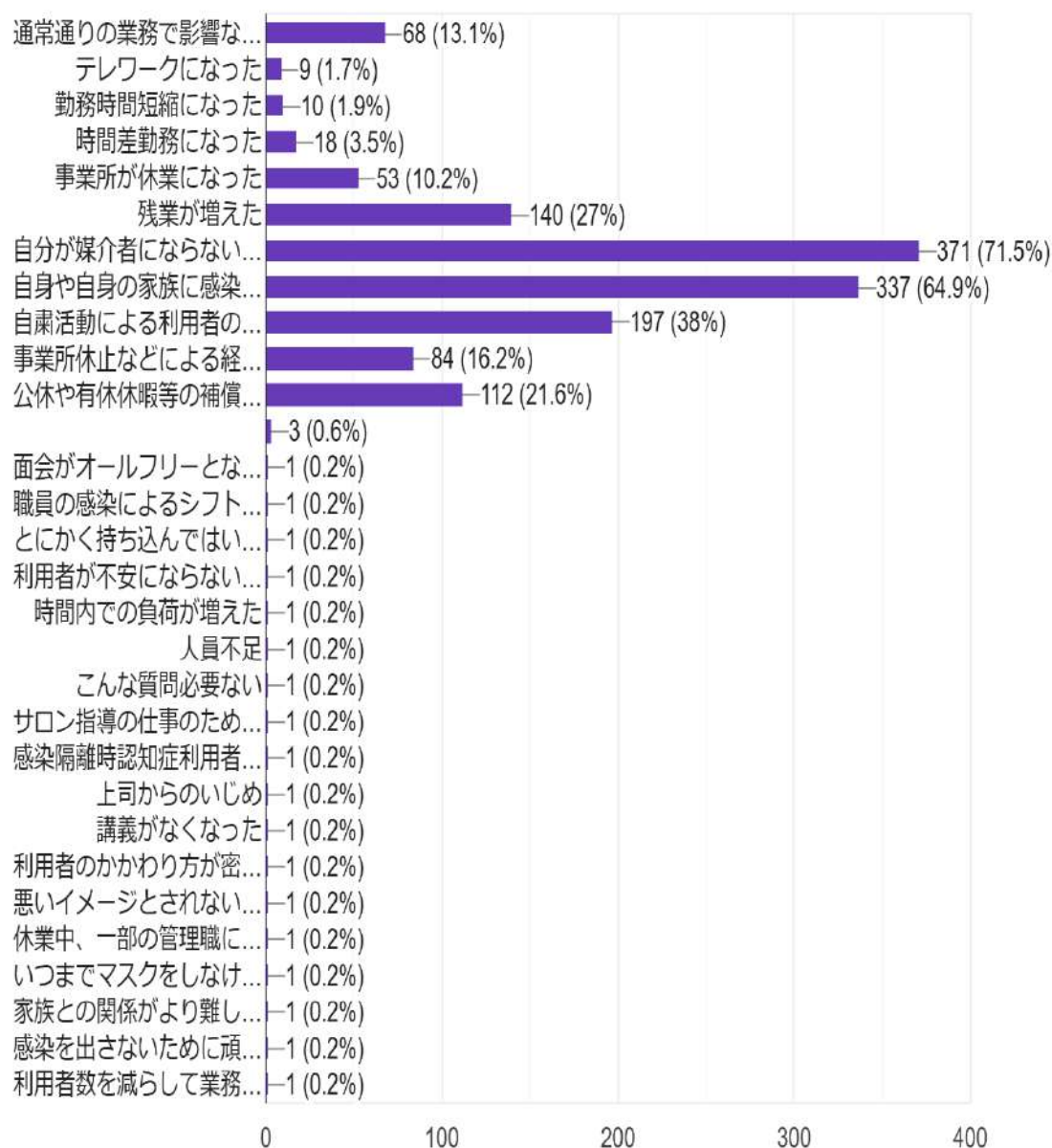


問 23

自分が媒介者にならないかの不安 71.5% 自分自身の家族に感染しないか不安 64.9%
自粛活動による利用者の重度化への懸念 38%

問23：新型コロナウイルス感染症について、事業へ...安な思いについてお答えください。(複数回答可)

519 件の回答

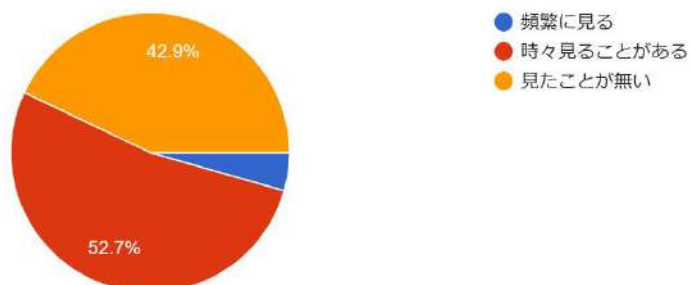


問 24

時々見ることもある 52.7% 見たことがない 42.9%を占めている。

(6) 公益社団法人長野県介護福祉士会の活動につ...のこれまでの利用状況についてお答えください。

545 件の回答

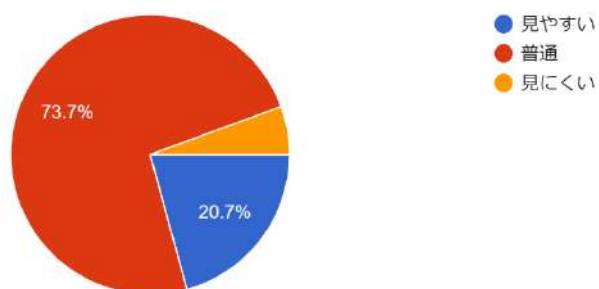


問 25

普通 73.7% 見やすい 20.7% みにくい 5.6%

問25：新ホームページの全体的な画面の見やすさについてお答えください。

323 件の回答

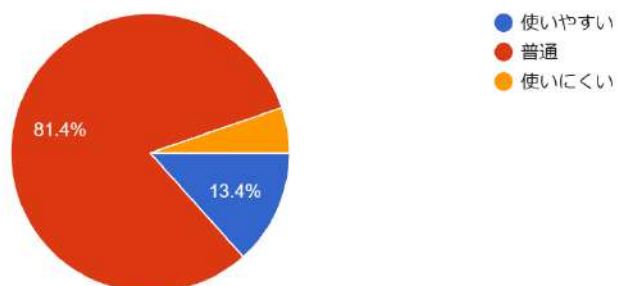


問 26

普通 81.4% 使いやすい 13.4% 使いにくい 5.3%である。

問26：新ホームページの全体的な操作方法についてお答えください。

322 件の回答

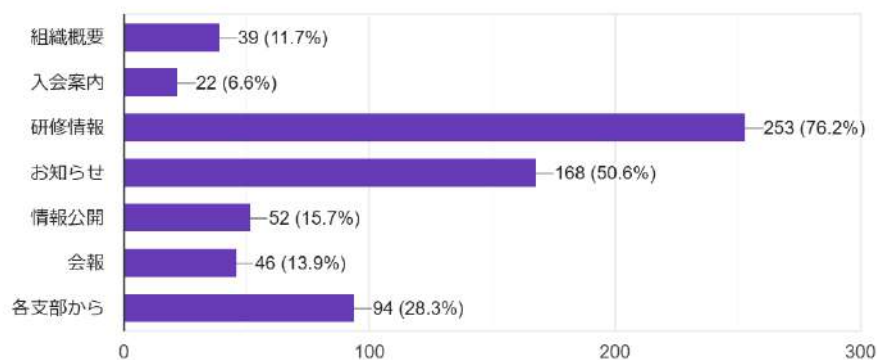


問 27

研修情報 76.2% お知らせ 50.6% 各支部から 28.3%である。

問27：利用した検索機能についてお答えください。(複数回答可)

332 件の回答

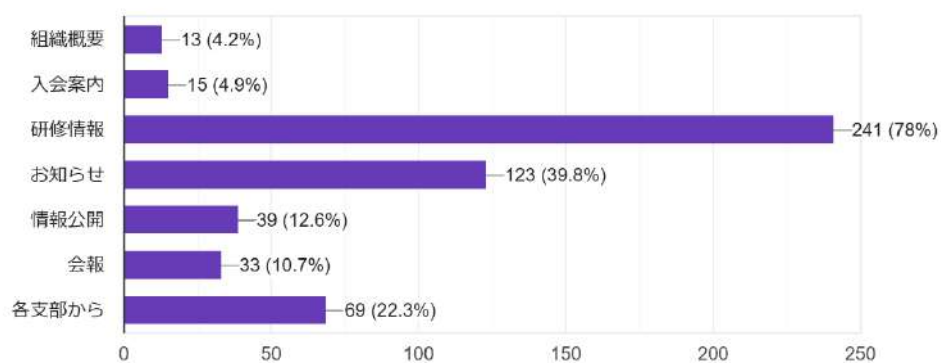


問 28

研修情報 78% お知らせ 39.8% 各支部から 22.3%との順である。

問28：役に立った情報についてお答えください。(複数回答可)

309 件の回答



問 2・わかりやすい操作方法。慣れれば使いやすい。

- ・ホームページを検索すると相手方にセキュリティがかかっていなく、△危険と表示されました。ウイルスやハッカーなどの安全対策をとり安全なホームページにして欲しい。
- ・スマートホン、パソコン両方で見やすいシステム。
- ・介護保険制度に関する情報。改正点など。
- ・研修予定の情報分かりやすいですが、研修後の参加者や講師のコメントとともに写真や簡単な内容をブログのように載せていくと研修の雰囲気や様子が掴みやすくなるのではないかな。
- ・ホームページの中で、支部の活動が分かるようにして欲しい。

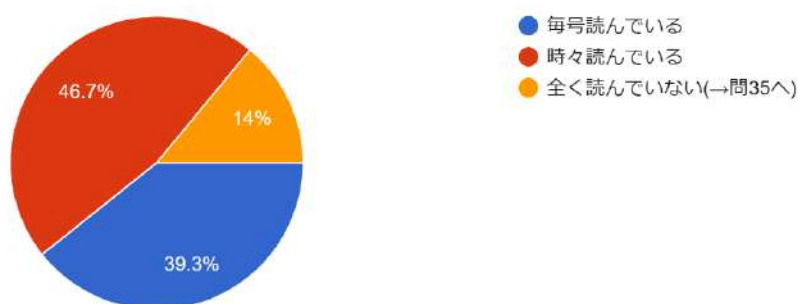
- ・支部会会議の日程内容などの情報公開、役員組織等。「」11
- ・年度初めには、研修予定など早めの情報を提示してほしい。
- ・ホームページの活用法を多くの方にお知らせしてほしい。
- ・会員がアクセスできるデータベースがあると良い。
- ・現場での困りごとに対する Q&A。
- ・おすすめの書籍などを知るコーナー

問 30

- ・時々読んでいる 46.7% 毎号読んでいる 39.3%
- ・回答いただいた約 8 割の方がみて下さっている。

問30：ケアワークについて読んでいる頻度についてお答えください。

550 件の回答

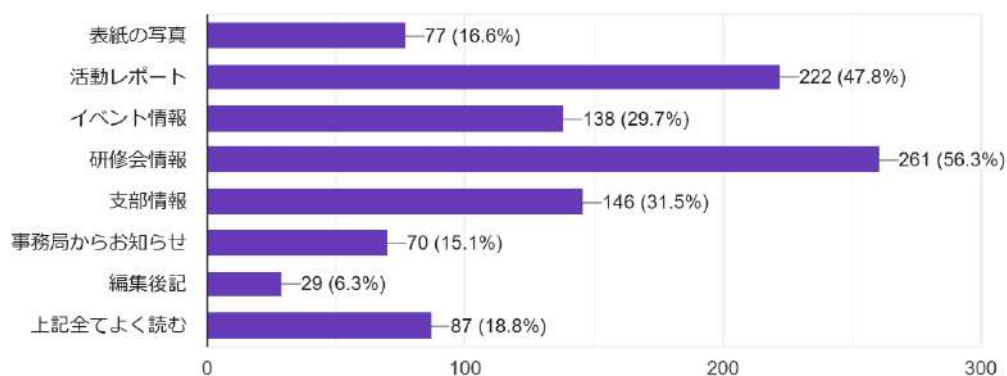


問 31

- ・研修会情報 56.3% 活動レポート 47.8% 支部情報 31.5%
- ・記事の中では、特に研修会情報、活動レポート、支部情報が読まれている。

問31：よく読む記事についてお答えください。(複数回答可)

464 件の回答

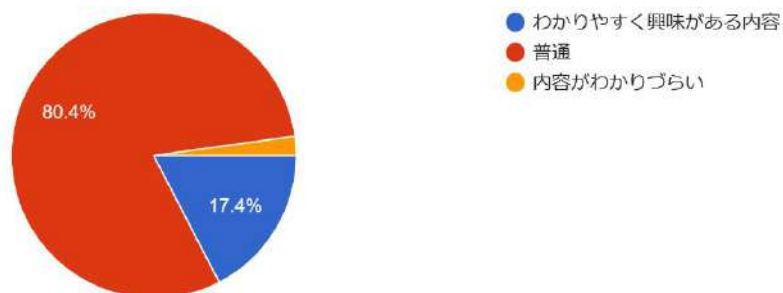


問 32

普通 80.4% わかりやすく興味がある内容 17.4%

問32：掲載内容についてお答えください。

460 件の回答

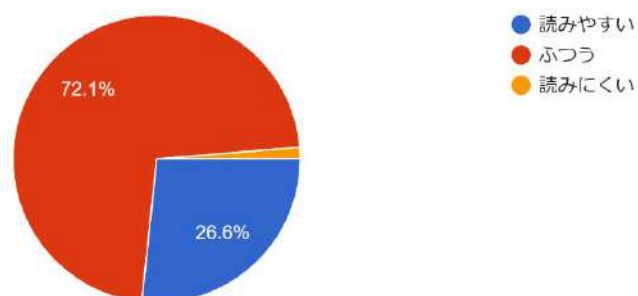


問 33

デザインは普通 72.1% 読みやすい 26.6%

問33：誌面(デザイン) についてお答えください。

458 件の回答



問 34

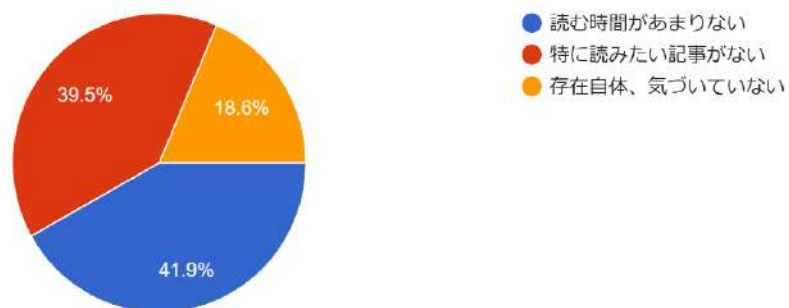
- ・持ち上げない介護。
- ・生活支援技術
- ・拘縮予防、褥瘡予防について。
- ・男性利用者のレクリエーション
- ・介護福祉士取得後のステップアップその情報
- ・生産性向上、I C Tの取り組み、業務改善事例
- ・先進的施設の取り組み
- ・退職後の生活をどうしているのか。年老いての介護福祉士
- ・多様性の時代、外国人介護職員のインタビューコーナー
- ・養成校の学生へのインタビュー記事
- ・今後の人材確保の可能性と介護報酬の変化予測

- ・コミュニケーション
- ・接遇
- ・社会の動向について
- ・法改正の内容(抜粋)
- ・脱オムツ
- ・困難事例や職員間でのコミュニケーションについての悩み Q&A
- ・会報を読むだけでも学び・研鑽につながる記事、
- ・体験談
- ・自身の身体や心のケアについて
- ・行われた研修の内容
- ・人材育成について（教育指導法）
- ・2025 年問題
- ・8050 問題
- ・ヤングケアラー
- ・事業所紹介
- ・ブランクある方の学び直し

問 35

読む時間があまりない 41.9% 特に読みたい記事がない 39.5% 存在自体に気づいていない 18.6%

【問30で「全く読んでいない」と答えた方】 問...ークを読んでいない理由についてお答えください。
86 件の回答

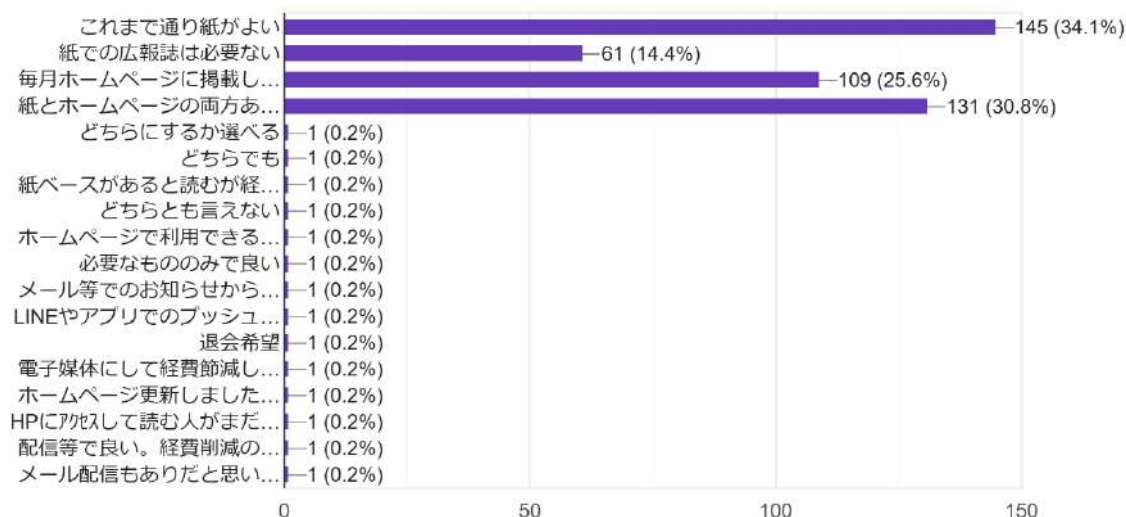


問 36

これまで通り 34.1% 紙とホームページ 30.8% 紙での広報誌は必要ない 14.4%

問36：今後、誌面の配布（配信）方法についてお答えください。複数回答可

425 件の回答



問 37

- ・研修情報がギリギリや募集が終わっていることがある。もっと先の研修予告をしていたきたい。
- ・会員のリラックス記事は、私だけではないんだという実感がわき仲間意識を持って頑張っている。
- ・各県のお花見所情報。
- ・紙媒体よりメール更新、ホームページの更新、研修の申し込みを考えたかどうか
- ・日本介護福祉士会の専門紙は紙で欲しいが他はペーパーレスで良い
- ・主要介護福祉施設へ会報を送ることで、介護福祉士会のアピールになるのではないかな。
- ・紙で届くことで読み、情報を得ることができる。
- ・紙だといつでも見られる。
- ・メール配信があると良い。
- ・広報は毎回読んでいるので引き続きお願いしたい。とても楽しみにしている。
- ・介護福祉士が夢を持てる内容がよい。
- ・新聞のように明確な情報を期待する。回覧・掲示したり紙面の有利性がある。説「明はホームページで」とか「QRコードで」は紙面の意味がない。
- ・薄い冊子でも良い。なるべく安上がりな、あまり経費をかけない本。
- ・会員が務めている事業所にも本誌に目を通してもらえるような工夫が必要。
- ・仕事あるあるなど読者の交流ページやほっこりできる内容
- ・発行回数が減ってしまい残念。

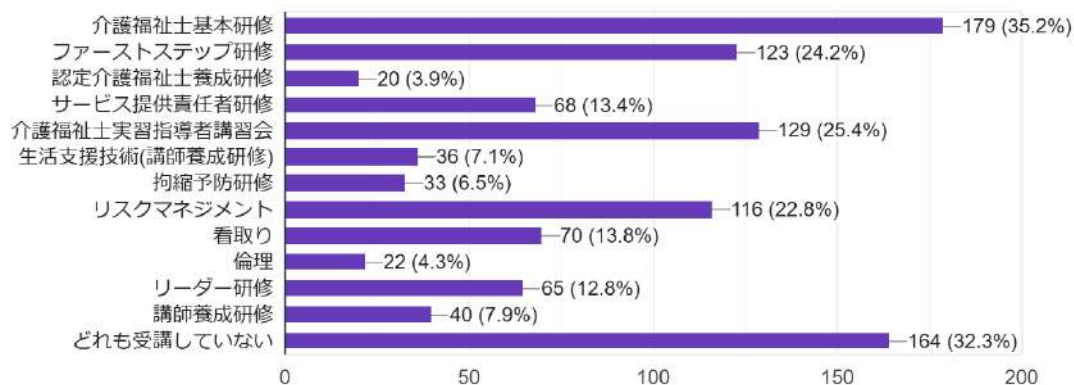
- ・写真の掲載が多くなって楽しみ

問 38-1

- ・介護福祉士基本研修 35.2% 介護福祉士実習指導者講習会 25.4% リスクマネジメント研修 22.8%と研修受講者が多いが、どれも受講していないも 32.3%と多い。

問38-1：長野県介護福祉士会の研修の受講状況につ...可) 受講した研修にチェックをお入れください。

508 件の回答

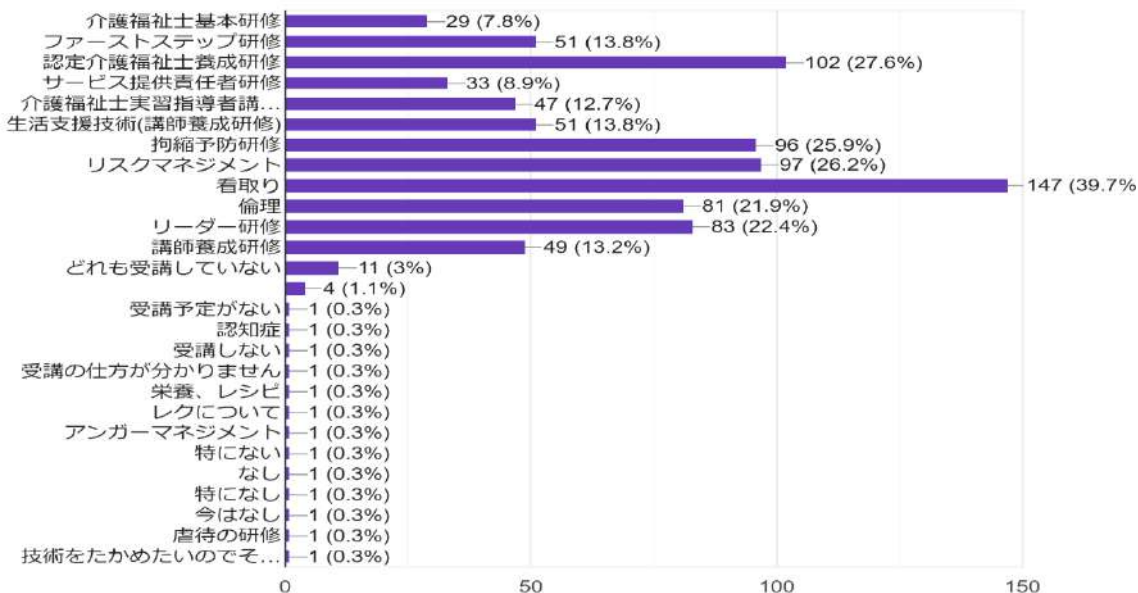


問 38-2

- ・受講したい研修として、看取り 39.7% 認定介護福祉士 27.6% リスクマネジメント 26.2% 拘縮予防研修 25.9% となっている。

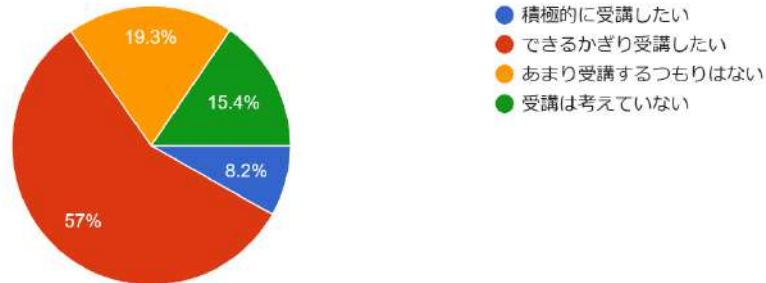
問38-2：受講したい研修にチェックをお入れください。(複数回答可)

370 件の回答



問 39 できる限り受講したい 57% あまり受講するつもりはない 19.3% 受講は考えていない 15.4% 積極的に受講したい 8.2%であった。

問39：長野県介護福祉士会の研修受講意向についてお答えください。
512 件の回答



問 40

・オンライン研修 45.8% 研修実施日の早期周知 43.6% 体験参加型の拡充 30.5%
半日研修 27.4% ブロック単位での研修実施 24.6%となっている xbv -0iu7

問 41

- ・研修会場が長野では遠い。時間、費用的にも大変。広い長野県ということの配慮が必要。南信での研修が少なく研修への参加が難しい。
- ・高齢分野だけでなく、障害分野（精神・知的・発達・障害児）も必要。
- ・介護福祉士基礎研修は、年に2回、参加しやすい場所で行って欲しい。
- ・受講希望者が多い研修は年に2回開催するなど検討ください。
- ・土日だけでなく、受講しやすい日程を希望。
- ・研修の決定通知は早く出して欲しい。
- ・オンラインやハイブリッド、YouTube等の動画アーカイブ配信での研修をやってほしい。
- ・オンライン研修は、夕方から夜遅く受講が難しい
- ・身近な場所で半日程度の日程の研修
- ・認知症に関する研修・勉強会。
- ・問題解決のための事例検討など実践的なもの
- ・職員に対する研修^-
- ・生活リハビリ
- ・生活支援技術研修
- ・口腔ケア研修
- ・体験型の研修
- ・コミュニケーション
- ・傾聴
- ・チームケア
- ・アンガーマネジメント
- ・自分のメンタルを守る研修。

- ・セクハラ、パワハラを受けたらどうしたら良いのか
- ・IT 機器の体験機会を身近な場所での開催。
- ・上野千鶴子先生、三好良子先生の研修 小森先生
- ・薬に関する研修（内服薬の効能、注意点、副作用など）
- ・防災に関する研修（BCP 作成）
- ・人材育成の方法
- ・山梨県在住で長野県に就業している。どちらの県で働くことになっても通用する研修。（他県との連携）
- ・外国人の方々への実務者研修、介護福祉士国家試験への受験対策についての指導方法。
- ・事業所内にてオンラインで受けられる研修があればパート職員も勤務時間内で受講が可能

問 44

- ・6 月頃は、新入社員は参加しにくい。秋ごろいかがでしょうか
- ・自然災害が起こっている。復興に時間もかかっている。少しでも被災地の方が元気になるように視察など行いいくらかでも収益になるような旅はいかがでしょうか。
- ・宿泊研修は参加が困難だが、報告会を Zoom などでもしてもらえると参加しやすい。
- ・2～3 か月前にしっかりした内容がわかると計画が立てやすい。

介護福祉士意識調査考察

I 基本的属性について考察

会員の背景は、会員は 40 代、50 代の会員が半数を超えている。20 代の食欲は少なく 70 代の会員が増えている。40 代で入会し継続している会員であると考えられる。養成校を卒業した方が 5 割を超えてきている。また、国家資格だから、将来に役立つと考えている方が 5 割を超えている背景がある。

介護の仕事をしていない方で、仕事の予定をされていない方がいることから、潜在介護福祉士の発掘も必要と考えられる。

訪問介護事業所が閉鎖されていることから、訪問介護事業所で働いている方が減っている。

働き方改革も重要であることが、1 か月の残業時間は、20 時間未満は 60.7%、20 時間を超えている方が 14%もいることも介護業界の課題であると考ええる。

II 研修、スキルアップについて考察

- ・介護福祉士基本研修の修了者が増えている傾向にある。質の高い介護福祉士を育成していく、リーダー的な介護福祉士の増加を目指すためにも、介護福祉士基本研修終了

者には、ファーストステップ研修の受講を進めていく。

- ・意識調査の結果、認定介護福祉士養成研修を受講希望している方が多かった。現在3期目を開催中であるが、受講者の人数は減少している。10名の受講者中、長野県の会員は5名にとどまっている。受講しやすい研修になるよう開催方法など検討を進めている。
- ・認定介護福祉士養成研修はファーストステップ研修修了者が受講対象となっている。過去に受講をした方を含め、広く声掛けをしていく。
- ・認定介護福祉士養成研修を、期間や料金的にもう少し気軽に受けられるようにしていただきたい。受講料をもっと安くしてほしいと希望もあった。2回払い⇒3回払い⇒科目ごとの支払いと段階的に受講料の支払いもしやすく改良している。講師料が他の研修と比較して高い設定となっている。今後検討していく余地は十分にある。
- ・支部研修においては、コロナ禍以降 Zoom を使用したオンライン会議が頻繁に行われるようになった。しかし、参加人数はあまり伸びず悩ましい状態となっている。対面研修の方が、参加者が多い状況となっている。また、就業時間後の19時スタートの研修を設定するが、仕事のあとの研修への参加は低い状況となっている。現場の人材不足や時間外労働の影響が大きいと考える。
- ・支部での研修は、現場レベルの研修とし、身近で現場に根差した内容を心がけたい。本会ではリーダー的介護福祉士を育成する研修の内容をメインとし、今介護福祉士が求められている研修を行っていく。支部と本会の研修について、すみ分けを行い明確にしていく。
- ・研修の周知について通知が遅くなるのも参加減少の一つの原因と考えると、早めの情報伝達をする必要がある。研修日時が決定したらすぐに通知できるよう研修案内のテンプレートを作成する。
- ・研修会参加に事業所からの受講要請がないのであきらめている。事業所への知らせ方で参加者を増やすことができるのではないか。事業所への働きかけも必要ではないか。
- ・研修に興味はあることがあるが、研修日程調整に苦慮することがある。研修のお知らせを早くすることで多数の方が研修に参加できるようにする必要がある。令和7年度は、本会の研修・支部研修情報を含め令和7年2月には年間計画を提示できるように進めています。

Ⅲ広報について考察

<ケアワークについて>

広報誌、新しい紙面になりデザインは、カラーとなったためさらに見やすい読みやすくなったことが分かる。

記事集めを依頼している部分が注目されている。しかし、掲載内容は、興味を引くほどではない。

取り上げて欲しいテーマは、様々であるが、日々使える介護技術やレクリエーションなどの要望が多い一方、自身に対するテーマ（資産運用、ストレス軽減）も挙がっている。制度改正時の説明・解説との意見もあるが、幅が広く紙面上ではお知らせがで

いのではないか。以前やっていた事業所紹介も移動や新設など含め会員同士のつながりの維持にもなるのか。

普段と違う封筒を使えば存在自体に気づいていない（未開封）の改善はできるのかも検討が考えられる。

- ・特に読みたい記事がない＝魅力不足なので興味を持ってもらえる紙面作りをしていくことが必要。

- ・現在も紙とホームページを使っているが、紙の配布については年齢層によって意見が変わってくるのではないか。

- ・研修情報についてはホームページなど様々な形でお知らせをしているので、申し込み期限が近い内容は紙面に極力入れない。

メールでのお知らせや連絡ができるように早急をお願いしたいとの話もありました。会に関わらないと入会メリットは感じられない。しっかりと情報が会員に届くように検討をしていく必要がある。

- ・広報の方法として個人ごとの希望に合わせたお知らせのルートを利用し全会員に伝えていくことができるようシステムの整備が早急に必要であることが考察されます。

IV 共通事項の考察

全会員にお知らせが届くこと、会員同士の繋がり、その方法と魅力ある介護福祉士会の運営が必要である。介護福祉士会より会員に配信していただきたい。メールなど使用可能なツールの利用方法に課題がある。

早い情報の伝達が必要である。

退職しても 60 代 70 代の会員の方が支部とのつながりがあれば退会者は減るのではないか。青年部や地域福祉委員会の交流会、潜在介護福祉士研修などを通し、先輩方の力をお借りし、世代を超えた交流を行って行くことが必要であると考えます。

利用者との年齢が近くなり共感できることが多くなり、どうかかわったら（どうして欲しいか）良いかわかるようになって笑顔がみられて楽しくなってきました。楽しいことの積み重ねで自分も元気をもらっている。

- ・研修予定など早めの情報を提示することで参加者も増えると考えられる。年度初め（2 月頃）に全体の研修予定をお知らせできるよう計画をしています。

<交流会についての考察>

- ・交流会については、感染症対応で以前のような交流会が難しい時期もありましたが今年度は、予定通り研修旅行を実施しました。すべての会員にお知らせが行き届かず知らなかったという方もいたことが、統計からわかります。

- ・ケアワークに案内が入っていましたが、お知らせが遅いとの回答もありました。各支部からのお知らせなど含め、どのような広報の仕方をするのか課題です。

- ・定年後の活躍の場作りとしての役割も果たす必要があります。まずは、地域福祉委員会が何をする会なのかお知らせし、若い世代との交流の場作りも行っていきたいと考えます。

V 結びに

今後ますます社会的介護が必要とされる社会の状況を鑑みれば、今回の意識調査の結果から、上質な介護サービスが提供につながるための職能団体の活動の推進が求められていると思われる。

回答者の基本属性をみると、回答者の平均年齢は年々高くなっている。また、専門学校や短大卒の占める割合が多くなっており、回答者の基本的属性とは違って、学校卒の若い方が介護業界に入ってきているという結果が出ている。組織強化のヒントがここにある結果が出たと考える。そして、会の活動に役立つヒントが得られ、皆さまが希望したカタチに近づけていくことが求められている。

この「意識調査」を公開し、長野県介護福祉士会の属性を地域に伝え、職能団体の活動と、可能性を知っていただきたい。そして、これからの介護福祉士会の未来を切り拓く可能性を見出していく中で、組織作り、広報、研修企画等に役立てていきたいと考えている。今後さらに詳細な項目について調査を進める必要があると考えている。

謝辞

本調査研究にご協力くださいました会員の皆様に、深く感謝申し上げます

調査担当

公益社団法人長野県介護福祉士会

三役会

副会長 総務担当 片倉千洋美

調査項目

(あてはまるものに☑をして下さい)

(1) 基本的属性

問 1：あなたの年齢（令和 6 年 3 月現在）をお答え下さい。

- ☐20 歳未満 ☐20 代 ☐30 代 ☐40 代
☐50 代 ☐60 代 ☐70 歳以上

問 2：あなたの最終学歴をお答えください。

- ☐中学卒業
☐高校卒業
☐専門学校卒業
☐短期大学卒業
☐大学卒業
☐大学院卒業
☐その他

問 3：養成施設卒業状況についてお答えください。

- ☐福祉系の高等学校卒業
☐養成施設（専門学校）卒業
☐養成施設（短大・大学）卒業
☐NHK学園等の通信教育を修了
☐学校等は卒業していない

問 4：資格取得の動機についてお答えください。（複数回答可）

- ☐国家資格だから
☐将来役に立つと考えたから
☐介護技術を身につけたかった
☐やりがいがある
☐自己啓発のため
☐就職・転職しやすい
☐社会に役立ちたい
☐職場で資格を取る必要があった

- ☐介護を必要とする人が身近にいた
- ☐収入や身分が安定している
- ☐その他()

問5：現在の就業状況についてお答えください。

- ☐現在働いている
- ☐現在働いていない

※【「現在働いていない」とお答えの方】

問6：介護の仕事をする予定についてお答えください

- ☐することが決まっている
- ☐するつもりだが、具体的には決まっていない
- ☐福祉や介護の仕事への復帰を予定・希望
- ☐仕事の予定はない

(2)就労条件等

【現在、介護、福祉、教育等の仕事についている方がお答えください】

問7：あなたの所属別、職種別をお答えください。

【所属別】

- ☐入所・入居、生活施設
- ☐居宅・相談支援等の事業所
- ☐医療施設
- ☐その他()

【職種別】

- ☐介護職員
- ☐生活相談員・生活指導員
- ☐サービス提供責任者・管理責任者
- ☐介護支援専門員
- ☐管理者
- ☐教員・助手等
- ☐その他()

問8：現在の職場の在職年数をお答えください。

- ☐1年未満 ☐1年以上3年未満 ☐3年以上5年未満
- ☐5年以上10年未満 ☐10年以上

問9：職場での立場をお答えください。

- ☐介護職員
- ☐介護職のチームリーダー（ユニットリーダー等）
- ☐係長・主任・介護職チームリーダーの統括等の現場の管理者
- ☐施設や事業所などの組織を束ねる管理者
- ☐経営者（施設や事業所などを経営する者）
- ☐教員 講師

☐ その他（ ）

2

問 10：雇用形態をお答えください。

- ☐ 正規職員
- ☐ パート、アルバイト
- ☐ 契約社員
- ☐ 派遣社員
- ☐ その他（ ）

問 11：1 週間あたりの実際の労働時間をお答えください。

- ☐ 40 時間以上
- ☐ 30 時間以上
- ☐ 20 時間以上
- ☐ 10 時間以上
- ☐ 10 時間未満

問 12：1 ヶ月にしている残業時間についてお答えください。また、残業手当についてお答えください。

《残業時間》

- ☐ 0 時間（していない）
- ☐ 20 時間未満
- ☐ 45 時間未満
- ☐ 45 時間以上

《残業手当》

- ☐ 残業時間のうち残業手当がつかない時間がある
- ☐ 残業手当はつく

問 13：労働条件の課題についてお答えください。（複数回答可）

- ☐ 給与・手当について
- ☐ 休暇について
- ☐ 労働時間について
- ☐ 研修参加等について
- ☐ 雇用形態・雇用期間について
- ☐ 人員配置と現状の人手不足
- ☐ 身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）
- ☐ 健康面（新型コロナウイルス等の感染症、怪我）の不安がある
- ☐ 精神衛生管理（精神的にきつい）
- ☐ 特に課題はない
- ☐ その他（ ）

問 14：現在の①ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

②仕事の内容・やりがいの満足度 についてお答えください。

① ワーク・ライフ・バランス

- ☐満足
☐やや満足
☐普通
☐やや不満
☐不満

② 仕事の内容・やりがいの満足度

- ☐満足
☐やや満足
☐普通
☐やや不満
☐不満

(3) 専門性について

問 15：働く事業所における「技能のある介護職員」の定義についてお答えください。
(複数回答可)

- ☐ 介護福祉士資格がある
☐ 一定の勤務年数がある
☐ リーダーや指導等の経験がある
☐ 研修など受講し自己研鑽している
☐ 認定介護福祉士である
☐ その他()

問 16：職場において専門性が活かされていると思う業務についてお答えください。
(複数回答可)

- ☐ 身体介護
☐ 生活援助
☐ 介護過程の展開（アセスメント～モニタリングまで）
☐ 心理的ケア
☐ ターミナル・ケア（終末期の介護）
☐ 介護業務日誌やケース記録の記入
☐ 介護予防
☐ 職員や実習生の指導
☐ 担当者会議への参加
☐ 家族の支援
☐ その他()

問 17：介護サービス業のポジティブイメージについてお答えください。

- ☐ 社会的に意義の大きい仕事だと思う
☐ 資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う
☐ 人との交流がやりがいにつながる業界だと思う

- ☐仕事にやりがいがある業界だと思う
- ☐専門知識や技術面でスキルアップしていける業界だと思う
- ☐雇用不安の少ない業界だと思う
- ☐様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う
- ☐誰でもできる仕事が多い業界だと思う
- ☐ワーク・ライフ・バランスを取って働ける業界だと思う
- ☐社風の良い事業所が多い業界だと思う
- ☐グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う
- ☐その他()

4

(4)組織の人材育成、研修計画について

問 18：人材育成に関する理念や規程、要綱など、組織での決まりを定めているか
お答えください。

- ☐定めている
- ☐定めていない
- ☐不明

問 19：事業所における人材育成として行っているものについてお答えください。
(複数回答可)

- ☐指導者を決めて業務の指導を行っている
- ☐指導マニュアルを作成している
- ☐職場内集合研修（法定研修を除く）を行っている
- ☐いずれも行っていない

問 20：事業所において、人材育成としての取り組みについてお答えください。
(複数回答可)

- ☐新任職員への研修
- ☐初任者職員への研修
- ☐中堅職員への研修
- ☐チームリーダーの研修
- ☐管理職員への研修
- ☐いずれも行っていない

問 21：人材育成として職場外研修の派遣（出張）状況についてお答えください。
(複数回答可)

1. 派遣(出張)している

理由

- ☐内容(目的、講義・演習内容)が良い
- ☐講師が良い
- ☐施設での開催が難しいものを実施している
- ☐受講料が安い
- ☐研修受講後に受講者に期待する効果が現れている

☐その他()

2. 派遣(出張)していない

理由

☐職場外研修に参加するための制度がない

☐受講料が高い

☐人員不足で派遣ができない

☐希望する研修テーマがない

☐研修参加費や旅費を確保できない

☐研修効果が期待できない

☐開催地が遠い

☐その他()

5

(5)感染症について

問 22：新型コロナウイルス感染症の予防対策について徹底されている事をお答えください。(複数回答可)

☐出勤前の検温や自身の健康状態の報告

☐勤務中のマスクの付け方や手洗いの方法について

☐体調が悪い時の出退勤の判断について

☐家族などに陽性者、濃厚接触者があった場合の対応について

☐利用者と接する時の注意等

☐その他()

問 23：新型コロナウイルス感染症について、事業への影響や不安な思いについてお答えください。(複数回答可)

☐通常通りの業務で影響なかった

☐テレワークになった

☐勤務時間短縮になった

☐時間差勤務になった

☐事業所が休業になった

☐残業が増えた

☐自分が媒介者にならないかの不安

☐自身や自身の家族に感染しないかの不安

☐自粛活動による利用者の重度化への懸念

☐事業所休止などによる経済的不安

☐公休や有休休暇等の補償への不安

☐その他()

(6)公益社団法人長野県介護福祉士会の活動について

➤ホームページ

問 24：本会ホームページのこれまでの利用状況についてお答えください。

- ☐ 頻繁に見る
- ☐ 時々見ることがある
- ☐ 見たことが無い

【ホームページを利用された方へ】

問 25：新ホームページの全体的な画面の見やすさについてお答えください。

- ☐ 見やすい
- ☐ 普通
- ☐ 見にくい

問 26：新ホームページの全体的な操作方法についてお答えください。

- ☐ 使いやすい
- ☐ 普通
- ☐ 使いにくい

6

問 27：利用した検索機能についてお答えください。（複数回答可）

- ☐ 組織概要
- ☐ 入会案内
- ☐ 研修情報
- ☐ お知らせ
- ☐ 情報公開
- ☐ 会報
- ☐ 各支部から

問 28：役に立った情報についてお答えください。（複数回答可）

- ☐ 組織概要
- ☐ 入会案内
- ☐ 研修情報
- ☐ お知らせ
- ☐ 情報公開
- ☐ 会報
- ☐ 各支部から

問 29：本会ホームページに関する希望・ご意見等があれば自由にご記入ください。
（自由記載）

➤会報誌(ケアワーク)

問 30：ケアワークについて読んでいる頻度についてお答えください。

- ☐ 毎号読んでいる
- ☐ 時々読んでいる
- ☐ 全く読んでいない(→問 35 へ)

問 31：よく読む記事についてお答えください。(複数回答可)

- ☐ 表紙の写真
- ☐ 活動レポート
- ☐ イベント情報
- ☐ 研修会情報
- ☐ 支部情報
- ☐ 事務局からお知らせ
- ☐ 編集後記
- ☐ 上記全てよく読む

問 32：掲載内容についてお答えください。

- ☐ わかりやすく興味がある内容
- ☐ 普通
- ☐ 内容がわかりづらい

7

問 33：誌面(デザイン) についてお答えください。

- ☐ 読みやすい
- ☐ ふつう
- ☐ 読みにくい

問 34：今後、取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。(自由記載)

【問 30 で「全く読んでいない」と答えた方】

問 35：ケアワークを読んでいない理由についてお答えください。

- ☐ 読む時間があまりない
- ☐ 特に読みたい記事がない
- ☐ 存在自体、気づいていない

問 36：今後、誌面の配布(配信) 方法についてお答えください。複数回答可)

- ☐ これまで通り紙がよい
- ☐ 紙での広報誌は必要ない
- ☐ 毎月ホームページに掲載してあればよい
- ☐ 紙とホームページの両方あればよい
- ☐ その他()

問 37：本誌に関する希望・ご意見等があれば自由にご記入ください。
(自由記載)

➤研修運営

問 38：長野県介護福祉士会の研修の受講状況についてお答えください。
(複数回答可)

【受講した研修】

- ☐介護福祉士基本研修
- ☐ファーストステップ研修
- ☐認定介護福祉士養成研修
- ☐サービス提供責任者研修
- ☐介護福祉士実習指導者講習会
- ☐生活支援技術(講師養成研修)
- ☐拘縮予防研修
- ☐リスクマネジメント
- ☐看取り
- ☐倫理
- ☐リーダー研修
- ☐講師養成研修
- ☐どれも受講していない

【受講したい研修】

- ☐介護福祉士基本研修
- ☐ファーストステップ研修
- ☐認定介護福祉士養成研修
- ☐サービス提供責任者研修
- ☐介護福祉士実習指導者講習会
- ☐生活支援技術(講師養成研修)
- ☐拘縮予防研修
- ☐リスクマネジメント
- ☐看取りの研修
- ☐倫理の研修
- ☐リーダー研修
- ☐講師養成研修
- ☐その他 ()

問 39：長野県介護福祉士会の研修受講意向についてお答えください。

- ☐積極的に受講したい
- ☐できるかぎり受講したい
- ☐あまり受講するつもりはない

☐受講は考えていない

問 40：介護福祉士会の各支部での研修がもっと身近になる条件についてお答えください。（複数回答可）

- ☐体験・参加型研修の拡充 ☐研修実施日の早期周知
☐退勤後の研修参加機会の確保 ☐オンライン研修
☐ブロック単位での研修実施 ☐半日研修の実施
☐その他（ ）

問 41：今後の研修企画の参考とさせていただきますので、希望する研修内容や講師等についてご要望がございましたらお教えてください。（自由記載）

➤交流会・研修旅行について

問 42：交流会の満足度についてお答えください。

① 交流会の企画、内容

- ☐満足
☐やや満足
☐どちらともいえない
☐やや不満
☐不満

9

②交通アクセスの利便性

- ☐満足
☐やや満足
☐どちらともいえない
☐やや不満
☐不満

③開催時期や日程

- ☐満足
☐やや満足
☐どちらともいえない
☐やや不満
☐不満

問 43：研修旅行の金額はどのくらいを希望するかお答えください。

- ☐2万～3万
☐3万～4万
☐4万～5万

☐ その他()

問 44：今後の企画に対しまして、ご意見、ご希望がありましたら自由にお書き
ください。

介護福祉士意識調査報告書

令和 7 年 4 月

住所：長野市中御所岡田 98-1

長野保健福祉事務所庁舎 2 階

電話：026-223-6670